

《専門教育科目 専門応用科目》

科目名	総合演習保育Ⅱ				
担当者氏名	坂口 静子、岡 美佳				
授業方法	講義	単位・必選	1・選択	開講年次・開講期	2年・秋期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	◎ 専門応用-2 豊かな人間性の醸成 ○ 専門応用-5 指導・保育の専門性				

《授業の概要》

教材づくりを通して、子どもたちは何を楽しみ、何を学び、何を身につけているのかを理解し、学生自らも表現する楽しさを味わってもらいたい。さらに教材の発表や相互評価をすることによって、保育者としての表現力やコミュニケーション力を身につけることを目指す。
 さらに、出前保育を通して人とかかわる体験をすることを目指す。

《授業の到達目標》

- 保育実践演習Ⅰ(春期)の発展的課題として、保育教材の理解を深める。
- 保育者間の連携と協同意識の必要性を涵養し、教材作りの完成を目指す。
- 完成した教材を身近な保育現場に活かせることを目指す。
- 子育て支援施設(常磐会学園こどもセンター)の機能や役割を知る。

《成績評価の方法》

定期試験は実施しない。
 授業における貢献度、作品によって評価する。
 平常点(受講態度等)20% 遊具制作・発表等80%

《テキスト》

使用しない。

《参考図書》

特に指定しない。
 適宜資料を配布する。
 注意事項：はさみ、のり、サインペン等を持ってくるよう指示することがある。
 造形材料の収集・購入が必要となる場合がある。

《授業時間外学習》

作品作成は授業外で完成させることもある。

《備考(教員経験の有無)》

この教科は幼稚園の教員経験に基づき構成しています。
 コロナ感染状況により学習内容の変更、時期の入れ替えがあります。

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	オリエンテーション	「保育所の日…人とかかわりが苦にならない資質を持つために」DVD視聴 人とかかわる体験(出前保育)の意義
2	子育て支援とは	子育て支援施設の機能の理解
3	子育て支援機能と教材作り	こどもセンター催しの構想と立案
4	子育て支援機能と教材作り	催しの創作(6~7人チーム制作)
5	子育て支援機能と教材作り	催しの創作(6~7人チーム制作)
6	子育て支援機能と教材作り	催しの創作(6~7人チーム制作)
7	子育て支援機能と教材作り	催しの創作(6~7人チーム制作)
8	子育て支援の意義と目的	常磐会学園こどもセンターの意義と目的、およびこどもセンター体験
9	教材作り	親子遊びの意義と理解 構想と立案
10	教材作り	親子遊びの意義と理解 教材制作
11	教材作り	親子遊びの意義と理解 教材制作
12	教材作り	親子遊びの意義と理解 教材制作
13	教材作り	親子遊びの意義と理解 教材制作
14	保育所保育指針 10の姿と学びの視点	小学校の学びへとつながる育ちの見通し 幼児理解と遊びの環境
15	まとめと今後の課題	演習とまとめ「母子の愛着形成と子育て支援事業の役目」 保育実践演習Ⅲに繋げて